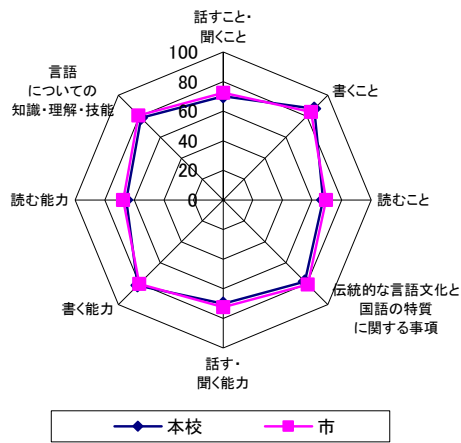


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	70.1	72.4	70.5
	書くこと	87.1	84.1	70.0
	読むこと	67.5	69.5	64.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.0	80.8	77.7
観点別	話す・聞く能力	70.1	72.4	70.5
	書く能力	81.7	80.2	68.0
	読む能力	65.5	67.5	62.4
	言語についての知識・理解・技能	78.3	80.8	77.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話の論理的な構成や展開に注意して聞き、意見を述べる問題や、資料を活用した話し方の工夫をとらえる問題では、正答率が市の平均を上回っている。 ●話し合いの内容を聞き取る問題では、市の平均より2.0～4.8ポイント低い。 ●聞き手の意見を反映しながら、論理的な構成や展開を考えて発表する問題では、市の平均より7.6ポイント低い。	・授業の中で、文章を目で読むだけでなく、集中して耳を傾ける課題を設け、メモをとりながら正確に聞く活動を取り入れ、聞き取った内容を確認することで、聞く力をつけさせる。 ・ソーシャルディスタンスを適切にとったうえで、1対1での意見交換や話し合い活動を行う。 ・意見の整理の仕方や、発表の仕方を指導し、聞き手に伝わる発表を意識した発表をさせる。
書くこと	○与えられた条件をもとに文章を書く問題では、それぞれの問いで市の平均を2.1～3.8ポイント上回っている。	・授業で自分の考えを書く時間を設ける。その際、根拠を明確にした論理的な意見にまとめられるよう指導する。 ・スタンダードダイアリーをはじめ、授業のみならず様々な場面で「書く」機会を設け、意見や考えをすぐに書ける習慣をつけさせる。 ・資料の読み取り方の指導や、そこからどんな意見が考えられるか検討する時間を設け、条件に合った作文が書けるようにする。
読むこと	○説明文の内容を読み取る問題では、市の平均とほぼ同じ正答率である。文章の構成や展開をとらえたり、内容を表すグラフを選んだりする問題では、市の平均を上回っている。 ●文学作品を読み取る問題では、市の平均より3.3ポイント低い。登場人物の心情をとらえる問題では、市の平均より4.1ポイント低い。	・語彙を調べさせたり、短文を作らせたりすることで語彙力を高める。 ・説明的文章の教材を通して、文章の展開を捉えたうえで、要旨をまとめる時間を設ける。 ・説明的文章の内容理解にあたり、主題と要点を理解し、筆者の考えを読み取れるよう指導する。 ・文学作品を通して、場面ごとに情景描写や表現の特徴を捉えることで、登場人物の心情や行動の背景を読み取る力を付けさせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字を読む問題は、市の平均とほぼ同じ正答率である。 ○用言の活用、対義語についての理解は、市の平均とほぼ同じである。 ●漢字を書く問題においては、市の平均より3.3ポイント低い。 ●敬語についての理解は、市の平均より4.5ポイント低い。	・年間を通して、漢字の小テストを行うことで、読みだけでなく書き取りの力の定着を図る。 ・文法や敬語について、定着していない内容を復習する時間を設け、確実に理解できるよう指導する。 ・類義語、対義語など言語に関する知識の定着のため、便覧を活用し、さまざまな言葉について興味を持たせる。